



OSAKA JAPAN

..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....
SUITA ESAKA ROTARY CLUB
CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
会長:八橋志夫 幹事:木元良三 会報委員長:飛田昭男

◇ 2009年6月16日 第910回例会(第909号) ◇

◎ 本日の例会 ◎

今週の歌 「それでこそロータリー」

卓話 「次年度方針発表」

- 今村 次年度クラブ運営委員長
- 金馬 次年度奉仕活動委員長
- 橋本 次年度広報委員長

◎ 次回例会のお知らせ(6月23日) ◎

次年度クラブ協議会

西本健二 次年度幹事

前回〔6月9日〕例会記録

■ 来客 ■

林 白 玫 さん (米山奨学生)

会長の時間

八橋 会長

会長の時間は本日を入れあと4回いただいておられます。本日は私の趣味の一つであります、魚釣りの話をさせていただきます。

皆様の中にも魚釣りを趣味にされている方もいらっしゃると思います。長い事ご無沙汰だった釣りでしたが友達に誘われ、福井県は越前の鷹巣沖に鯛釣りに行ってきました。釣果はアジ4匹とアジより小さい鯛3匹でした。

本日紹介させていただくのは、釣り方です。今回は船をチャーターして仕立船で早朝5時に港を出て行きました。餌はオキアミを使いました。持参したバッテリーに電動リールをつなぎ、竿をセットし、リールをフリーにしておきます。そして船べりから

■ 出席報告 ■

水谷 委員

【6月9日】

在籍会員 41名 (内出席規定適用免除者 8名)
出席会員 32名 (内出席規定適用免除者 5名)
ホームクラブ出席率 84.21%

5月19日のMUを含む出席率 91.89%

オキアミを海に撒きます。その撒いたオキアミと同調させながら、オキアミを付けた仕掛けを投入します。だいたいハリス6号、針伊勢尼12号を2~3本付きの仕掛けを用います。船べりにセットした竿を船のゆれにまかせておくと、その竿にセットされたリールがゆっくり回転して、潮の流れに乗り糸が出て行きます。40m、50m、60m、70m、と仕掛けが流れて海底に沈んでいきます。その間にもオキアミをチョコチョコと撒き続けます。ちょうど帯状に撒き餌と仕掛けが同調して流れ海底に沈んでいく感じです。そして魚が仕掛けの針に付いているオキアミを食べた時、リールが早くまわりはじめ、音を出しながら糸が出て行きます。(流す時は120mくらいまで流します)リールをロックし、糸の出を止め、竿を立てて、しゃくりあげてあわせませます。そして魚の引きを楽しみながら取り込みます。日本海のこの釣り方は仕掛けにオモリの負荷をかけない「完全ふかせ釣り」と言います。簡単に言えば船をアンカーで止めてそこから魚のいるポイントまで撒き餌と仕掛けを同じように流して釣る方法です。

反対に太平洋の釣りは潮の速さ、海の深さを考慮したオモリを付け、仕掛けを船から投入し、魚のいるポイントまで潮の流れにまかせて、船ごと仕掛けをポイントに持っていく方法です。潮流の速さ、海の深さ etc いろいろと海の条件が異なるのですが、所変われば…の世界です。

ニコニコ箱

東 会 員 夏の家族会、全員参加でよろしく。
橋 本 会 員 前回欠席と本日早退のおわび。
栢 本 会 員 今日は充分間に合いました。
大 森 会 員 本年度本当にお世話になりました。
内 田 会 員 本日の報告どうぞよろしく。

本日分 26,000円

累 計 1,333,140円

次年度親睦活動委員会 東 次年度委員長

“2009”夏の家族会ご案内

八橋会長年度が終われば、20周年の記念の年がスタート。渡辺(忠)会長年度(車にポピー!)の開始となります。会員相互、家族相互の更なる親睦を図るため楽しんでいただける企画でお待ちしておりますので、ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

と き：7月18日(土)

ところ：ザ・リッツ・カールトン大阪

TEL 06-6343-7000

アトラクション：

漫才界の大御所オール阪神・巨人をゲストに迎えたつぶり笑ってもらった後、ビンゴゲーム等を実施。

登録料：会員 15,000円

夫人 10,000円

家族 中学生以上 10,000円

小学生 5,000円

小学生未満 無料

欠席会員の方には例年通り半額7,500円頂きますので宜しくお願いします。

尚、会費は周年事業との位置づけで据え置いています。

〔例会〕

17:30 受付開始

18:00 開 会

18:30 閉 会

〔家族会〕

18:30 開 会

*会長挨拶、アトラクション、ビンゴ

20:30 閉 会 (手に手つないで)

親睦活動委員会 寺 井 委員長

第3回情報集会&新会員歓迎会のご案内

本年度第3回目の情報集会と新会員2名(小笠原会員・加藤会員)の歓迎会を下記の通り開催させていただきます。多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

日時：6月23日(火) 午後6時より

場所：『かに道楽』江坂店 TEL 06-6388-0288

会費：10,000円

奉仕活動委員会 西 上 副委員長

(ロータリー財団担当)

八橋会長よりベネファクター寄付金\$1,000を頂きました。クラブの目標が達成されました。ありがとうございました。

関西大学RAC設立準備委員会

西 上 委員長

来週例会終了後(6月16日)、関西大学RAC設立準備委員会を開催いたします。委員の皆様ご出席宜しくお願いします。部屋はメイプルです。

次年度プログラム委員会

新 井 次年度委員長

渡辺(忠)次年度会長の意向により、全会員の自己紹介を1人5分程度で卓話時間をさいて行なっていきます。会員名簿順で行なっていきますので宜しくお願い致します。

卓 話

「今年度事業報告」

クラブ運営委員会 内 田 正 委員長

CLP導入1年目にクラブ運営委員長を仰せつかりまして不安と戸惑いの中、スタートいたしました。5小委員会のSAA、親睦、プログラム、会報、そして出席の方々には多大なるご尽力を頂き誠にありがとうございました。

今年度の会長方針でありました新鮮さのある家族会の開催、ロータリーソングの工夫、創意工夫された例会運営ですが、家族会につきましては、夏は十三のプラザオーサカの屋上からの淀川花火大会の見物を企画いたしました。当日は過去最多の108名というご参加を頂き、打ち上げ直前からの雨で大変心配いたしました。後半には雨もあがり最高の場所からの素晴らしい花火見物が出来たのではないかと考えております。

そして冬のクリスマス家族会ですが、青芝フック

師匠に司会をお願いしまして会員及び家族によりますカラオケ大会を実施し、これも大いに盛り上がりました。

情報集会は予定通り3回実施され、その内2回は新会員の歓迎会を兼ねて開催されました。従来は新会員につきましては、夏と冬の家族会の際に歓迎セレモニーを行っておりましたが、次年度は20周年行事のため家族会は夏の家族会の1回になるそうです、新会員の皆様には早く当クラブに馴染んで頂くという意味合いからも、入会時から家族会ならびに情報集会の予定が無い場合、もしくは相当期間が空いてしまう場合にはその都度、歓迎会を開催されるのも良いのではないかと思います。

例会運営についてですが、SAA及び親睦委員会の皆様の協力のもとスムーズに行われたと思います。例会開催時の握手と食事前の合掌は来られたゲストの方々にも大好評を頂いております。出来れば次年度も続けて頂ければと思っております。

プログラム委員会としましては1人でも多くの方にテーマが重ならないことを念頭に置きながら、上半期は次年度20周年を迎えるにあたっての卓話、又、会長方針である会員増強、関西大学RAC設立を大きな柱に、少し硬派の卓話になりました。

下半期は少しでも内容で元プロ野球選手の桑田真澄氏の講演を始め、各方面のゲストにお越し頂きました。

会報委員会につきましては、年度始めに1名欠員が出来ましたが、直ちに補充をして頂き、皆様のお力添えにより遅滞なく編集をして頂き目標を達成して頂きました。

最後になりましたが、出席委員会ですが、本年度目標にしていたホームクラブ出席率80%をクリアする事が出来ました。

以上、主な所を申し上げましたが、各小委員会の委員長及び委員の方々1年間本当にご苦労様でした。ありがとうございました。

奉仕活動委員会

金馬隆仁 副委員長(代理)

CLPによる改革により四大奉仕委員会のうち職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の3委員会と青少年・米山奨学・ロータリー財団の6小委員会に簡素化され戸惑いもありましたが、各担当委員長の連携により終えることができました。

職業奉仕

2月4日(水)前年に続き、江坂大池小学校にて6

年生を対象に出前授業を行いました。講師には、米山奨学生の林白玫さんより「ロータリーの米山奨学生」と題して留学生の体験談を話していただき、渡辺(忠)会員には、職業に困って「香料の作り方」を香りや臭覚について実験を交えながら化学の勉強をいたしました。時間が少なくて残念でしたが、69名の児童たちは熱心に勉強してくれて今年の出前授業も成功裏に終えることが出来ました。児童たちの書いてくれた感想文を原文のまま(氏名は除く)冊子にまとめて卒業記念品として贈呈いたしました。感想文の中に「今度は今の5年生に教えてくださいよろしくお願いします。貴重な体験が出来てとても光栄でした。」との注文もありました。

社会奉仕

本年度の方針である学校・地域と連携し子どもの見守り活動を勧めてまいりましたが、力不足で効果が出ていませんが、よりよき地域にするためにこれからも推進していきます。

青少年奉仕

地区青少年活動委員会の春秋のライラ、夏のニコニコキャンプへの参加をいたしました。また、新時代の為の月間にはチームライラである新田さんをお招きして卓話をしていただきました。

国際奉仕

20周年記念事業として①カンボジアやベトナム等に対し、新プロジェクトを立ち上げる事、②エチオピアの奨学金を復活する等を検討したが、お金が本当に生き、寄付を継続することの問題で結論が出ず継続事項となった。

米山奨学

- 7月26日薬業年金会館に於いてクラブ米山奨学生委員長会議及びカウンセラー研修会に出席。
- 12月6日シティプラザ大阪に於いて、米山奨学生ホームカミング講演会に、林白玫さんとともに出席。
- 普通寄付金20万円、特別寄付金60万円をロータリー米山記念奨学会へ寄付した。
- 米山奨学生の林白玫さんによる卓話を実施した。

ロータリー財団

- 地区協議会、ロータリー財団セミナー、ロータリー財団委員長会議等に出席し、その内容を

会員に報告した。また、ロータリー財団月間に卓話を通じて理解を求め、寄付金の協力を得ることができた。

2. 寄付金

年次寄付：13,000円/人、恒久寄付：ベネファクター1名、ポリオ撲滅寄付：2,000円/人を達成・寄付することができた。

3. ロータリー財団国際親善奨学生

クラブから1名推薦し、1次試験は通過した。

4. RI第1770地区フランス東GSEチームを京都デーに歓迎し、京都嵐山にて移動例会を開催、その後市内観光を実施した。

5. マッチンググラントによるプロジェクト (MG #68407) の実施

台北龍門RC、PatumwanRC、KaohsiungDafaRCとの共同で、台中恵明学校(盲学校)へ障害者補助器具を贈呈。吹田江坂RCは\$1,500.00拠出。

関西大学RAC設立準備委員会

関西大学RAC設立準備委員会開催に向け、RI第2680地区にて神戸女子大学RACを提唱されている須磨RCと、姫路独協大学RACを提唱されている姫路南RCの関係者より大学RAC設立に関するアドバイスや資料提供を受け、関西大学RAC設立準備委員会資料とすることができました。

関西大学RAC設立準備委員会は3回開催し、意見交換や委員の認識を高揚することができました。

また、クラブフォーラムを2回開催し、クラブ会員各位に共通の認識を持っていただけました。その結果、年次総会にて関西大学RAC設立が採択されました。

採択を受け、公式に関西大学へRAC提唱を申出いたしました。そして、関西大学と吹田江坂RCとの間でチャーターナイトの開催日程を今年12月12日とすることで基本合意をいたしました。

広報委員会 大井清 副委員長(代理)

広報委員会としては、今年度は増強1本で推しすすめてきました。会員増強のフォーラムを3回開き、アンケート調査を実施。会員の増強意識を高めることに努めました。

会員増強

会員増強、10名を目指して皆様の力添えをいただき、4名の新しい会員をお迎えしました。

ロータリー情報

新会員に対し、オリエンテーションを開催し、ロータリーの目的(綱領)について、お話をさせて頂きました。又、情報集会では『奉仕の理想』について、再確認させて頂きました。

記録広報

クラブ内の活動を記録保存を行った。又、地区委員長会議に出席し、クラブ内での各諸行事等の広報活動、クラブ外については、マスメディア等、外部へのクラブの広報活動の発信等、色々な重要性を認識いたしました。

「友」インターネット速報

2009年6月9日 NO.384

財務状況に関する最新報告(抜粋)

3月と4月に国際ロータリー(RI)とロータリー財団の両組織で好ましい投資結果が見られ、今会計年度において初めて2か月連続での投資の伸びが見られました。この結果、2月の時点で2,600万ドルだったRIの投資損失は1,800万ドルに減少(4月30日現在)し、財団の投資損失は2億2,200万ドルから1億8,700万ドルに減少。現在までの損失の大半は含み損(未実現損失)であり、市場が回復すれば状況は好転すると思われま。

RI財務委員会は、4月に2009-10年度のRIの運営予算提案書を検討。6月のRI理事会会合で予算の承認を推奨しました。RIの一般余剰資金については、2009-10年度を通じ、RI細則が掲げる85%の水準以上を維持するものと見込まれています。

また、財団管理委員会は、4月に2009-10会計年度の運営緊縮予算を承認しました。今後数年間は、これまでのように運営資金を確保することができなくなる可能性があり、ジョナサン・マジリアベ管理委員長は、財団の予備金を回復させるため、公正かつ効果的な複数年計画を立てることを目的とした特別委員会を任命。さらに、財団の投資諮問委員会は、プログラム経費と運営費を賄うに十分な流動資産が維持できるよう、年次プログラム基金の投資方針の見直しを行っています。財務に関する詳細はRIホームページ

<http://www.rotary.org/ja/aboutus/financials/pages/ridefault.aspx>

をご覧ください。

エド・フタ(布田)RI事務総長